

6. 逆巻～百ノ木 沿線地区

【逆巻～百ノ木 沿線地区の公共交通の現状】

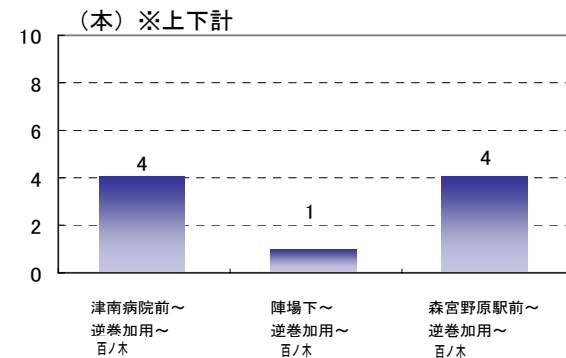
- ・ 路線バスは「津南～百ノ木」間となっており、出浦・大谷内・日出山は福祉バス「ひまわりバス」のみの対応となっている。
- ・ 路線バス「津南病院～百ノ木」間は百ノ木 7:15 発の利用がほとんどでそれ以外の利用者は極めて少ない。
- ・ 路線バス「陣場下～百ノ木」、「森宮野原駅～百ノ木」は平均乗車率が 0～0.1 とほとんど利用がない。
- ・ 上郷小・上郷中の通学対応としてスクールタクシーが出浦まで運行。
- ・ 路線バス・スクールタクシー、福祉バス「ひまわりバス」の運行ルートは「百ノ木」まで重複している。

●路線の概況

運行本数(平日)

逆巻～百ノ木地区は 2 路線 3 系統行が運行。運行本数としては全体で 9 本。

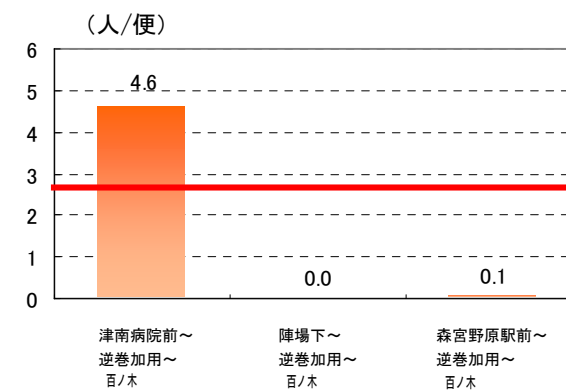
- ・ 「津南病院前～逆巻加用～百ノ木」上下計 4 本 (2 往復)
- ・ 「陣場下～逆巻加用～百ノ木」上下計 1 本 (0.5 往復)
- ・ 「津南病院前～逆巻加用～百ノ木」上下計 4 本 (2 往復)



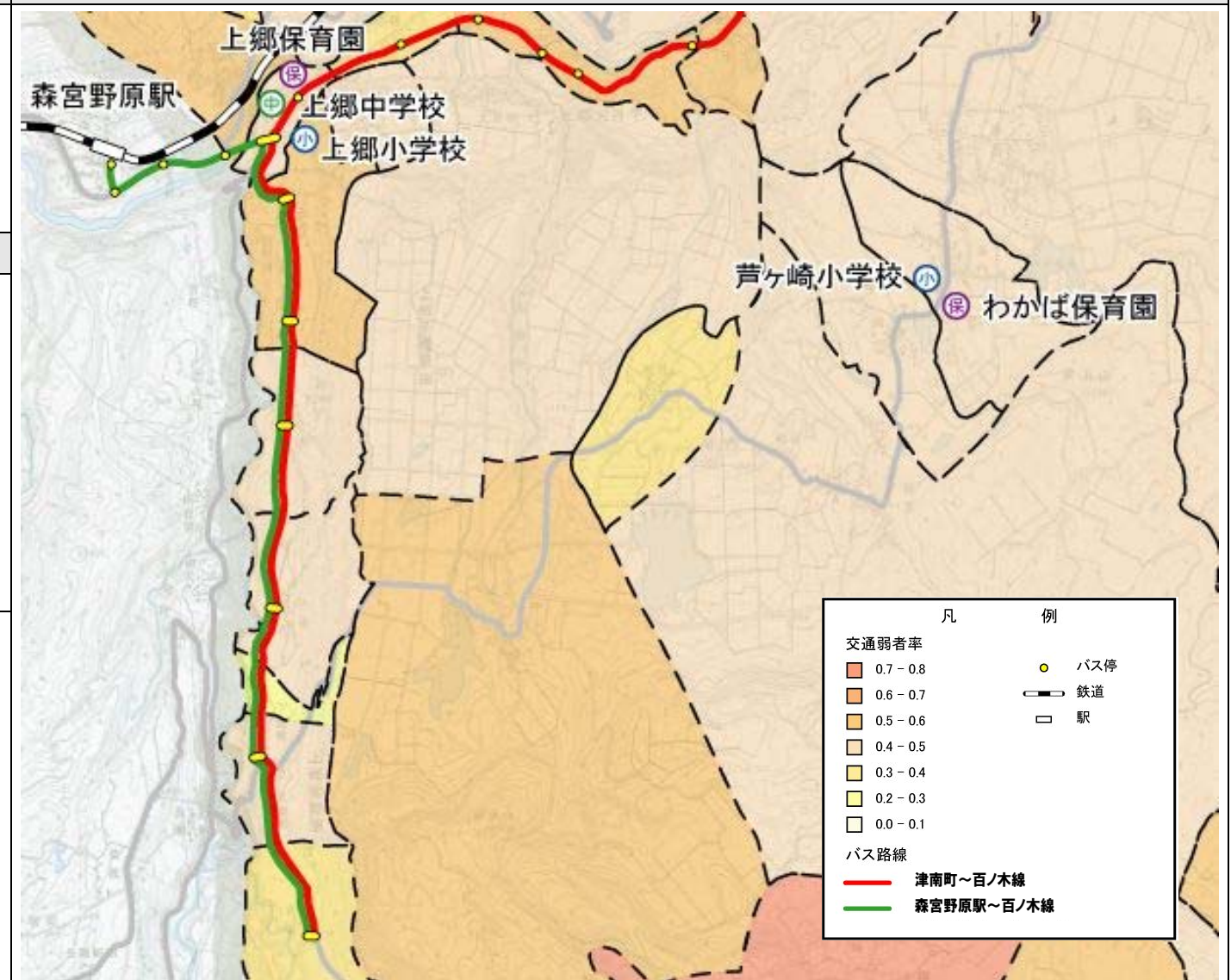
平均乗車密度

「津南病院前～逆巻加用～百ノ木」以外は利用が少なく、平均乗車密度が 0～0.1 人未満。

- ・ 「津南病院前～逆巻加用～百ノ木」: 4.6 人/便
- ・ 「陣場下～逆巻加用～百ノ木」: 0.0 人/便
- ・ 「森宮野原駅前～逆巻加用～百ノ木」: 0.1 人/便



バス路線網(現況)



●住民ニーズ(※アンケート調査結果から問題点・課題部分を掲載)

【公共交通の満足度】

・ 公共交通利用者の 57.9%が不満と感じている。

【具体的な不便内容】

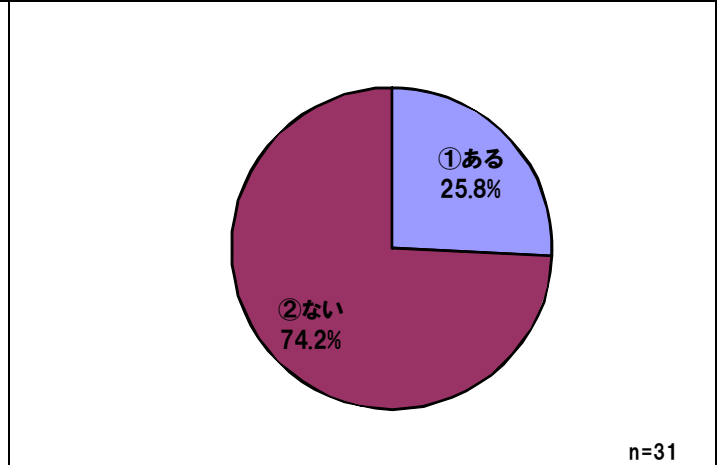
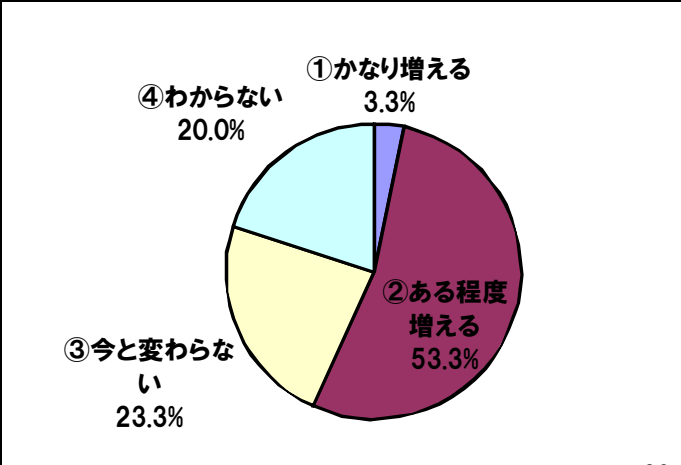
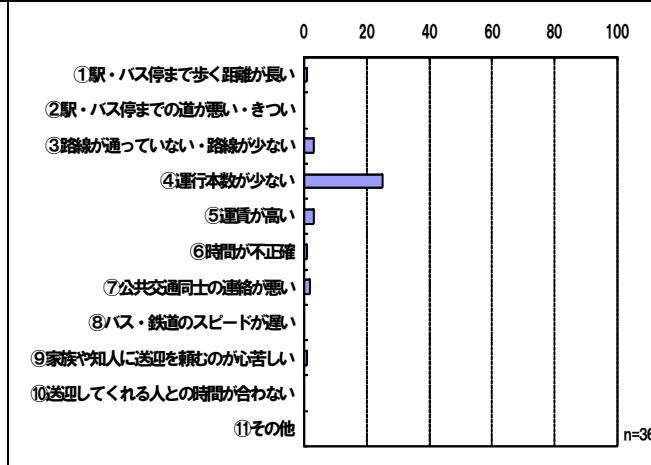
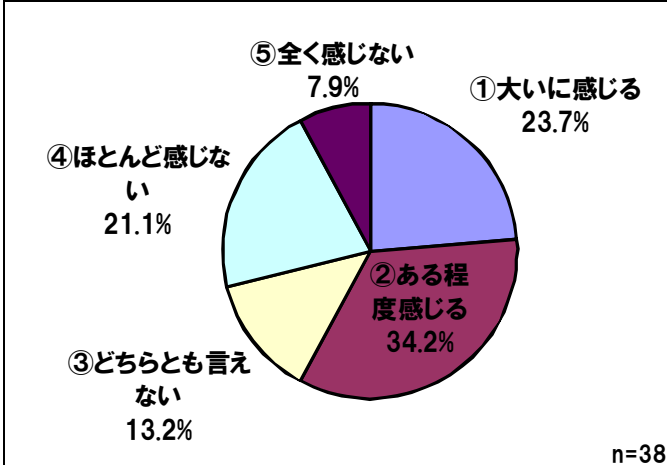
- 1位：運行本数が少ない。
- 2位：路線バスが通っていない・路線が少ない。
- 2位：運賃が高い。

【不便改善による利用機会】

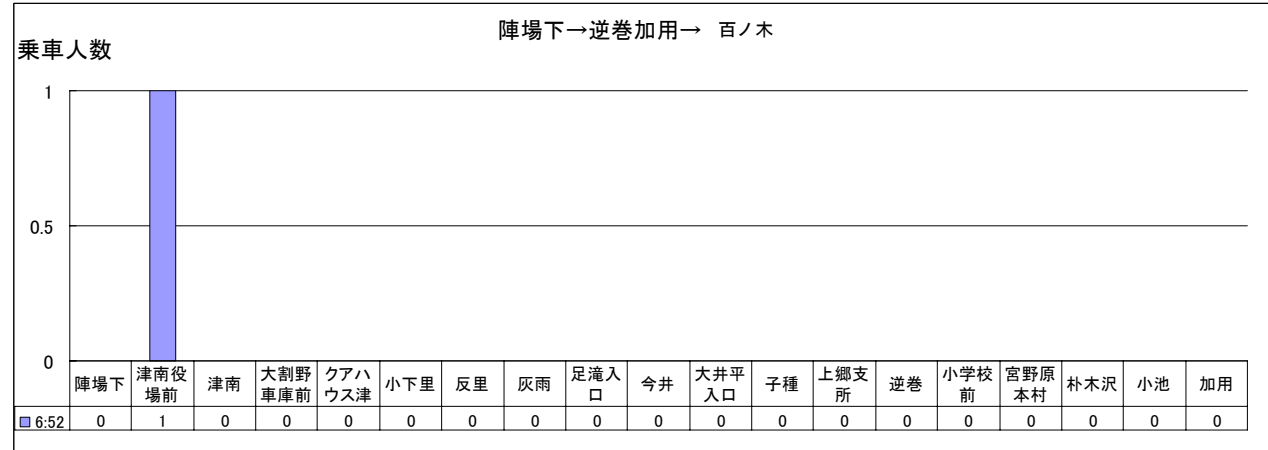
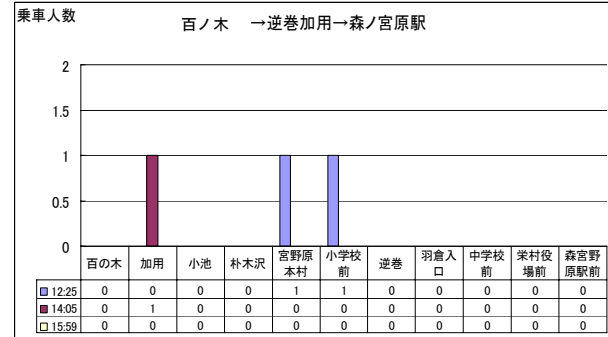
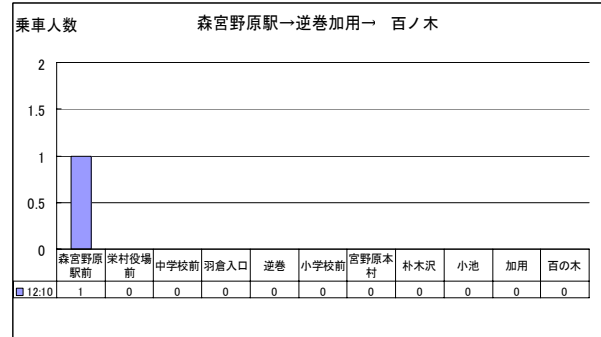
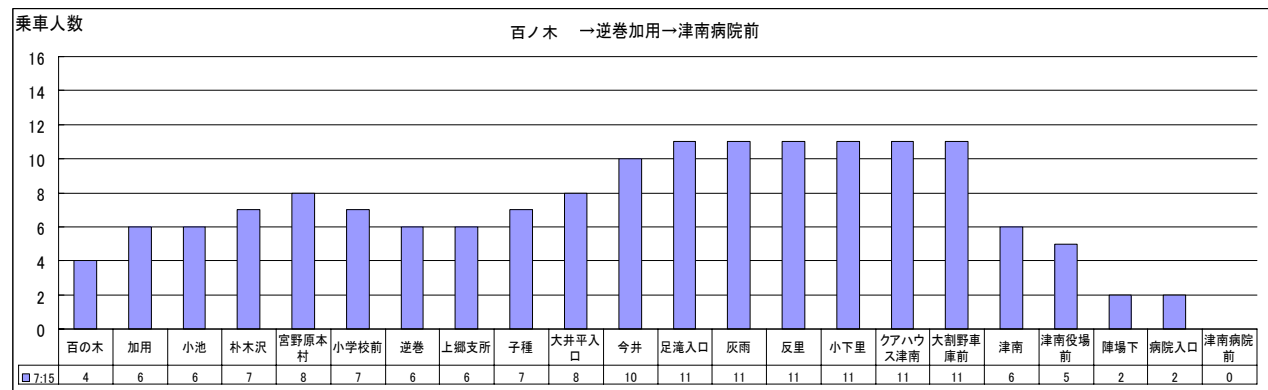
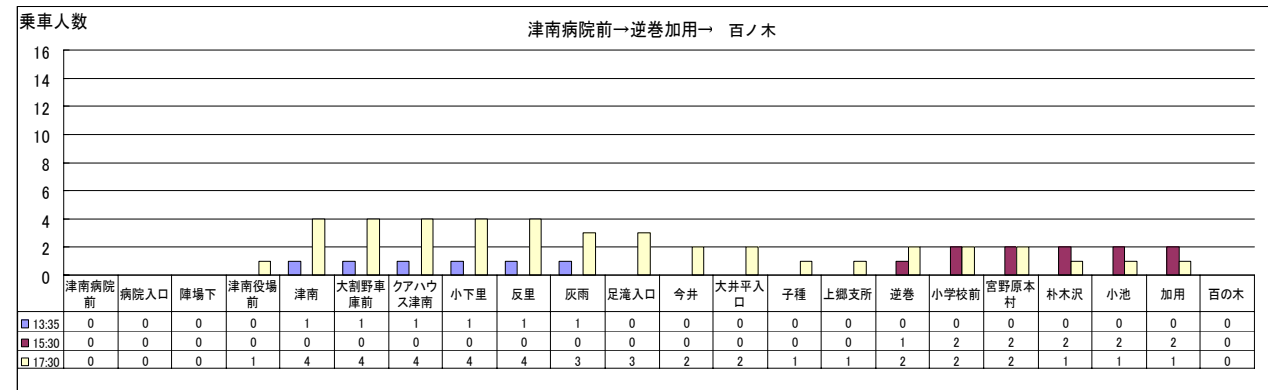
・ 不便改善により 56.6%の方が「利用機会が増加する」と回答している。

【行き来できない施設・エリアの有無】

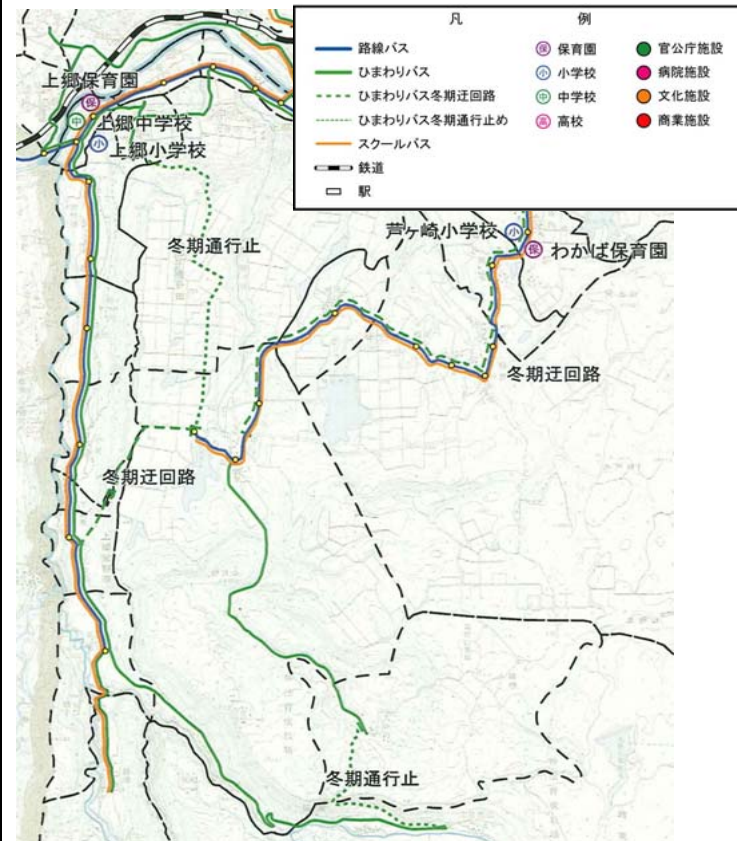
・ 公共交通で行き来できない施設・エリアがあると回答している方が 25.8%。



路線バス乗降調査結果(H19.6 データ)



既存公共交通の重複状況



当該エリアの問題点・課題

- 【路線バスとスクールタクシーの重複状況】**
- スクールタクシーは、出浦における上郷小・中学生の登下校に対応して運行している。
 - しかし、スクールタクシーは、運行ルート・運行ダイヤが、路線バス「百ノ木～津南」と、ほぼ重複する状況で運行している。
 - また、当該地域では、ひまわりバスも運行しているが、ひまわりバスについても路線バスと、ほぼ重複するルートで運行（運行時間は、重複していない）している。
- 【ルート重複】**
- 出浦・大谷内エリアはひまわりバスのみ。
 - 上記エリア以外は概ね全区間重複。
- 【時間重複】**
- 路線バス：百ノ木 7:15 発 津南病院 13:35 発
 - ひまわりバス：百ノ木 9:45 発 津南病院 13:10 発
- (時間重複無し) (25分差)

- 【その他の状況】**
- 路線バスの運行は、百ノ木までであり、出浦・日出山へはひまわりバスのみが対応する状況となっている。
 - 無雪期の出浦方面のひまわりバスは、比較的道幅が広く安全な中子方面からでなく、最短ルートの日出山から妙放牧場を抜ける狭隘な道のりで運行している。
- 【今後予想される変化状況】**
- 特になし。

当該エリアの公共交通ネットワーク見直し・再編イメージ

- 【公共交通ネットワークの見直し・再編】**
- 方向性①：路線バスは通学・通院にも対応できる運行形態に見直し変更**
- 通学（上郷小学校、上郷中学校、津南中等教育学校への通学）に対応できる運行ダイヤへの見直し変更して現行スクールタクシーの機能を持たせるとともに、通院にも対応できる運行ダイヤへの見直し変更を行う。
- 方向性②：乗合タクシーの新たな運行（ひまわりバスの代替交通・昼時間帯での路線バスの代替交通として）**
- 路線バスの利用度が低い昼間を中心とした時間帯においては、現行の路線バス・ひまわりバス・スクールタクシーの代替交通として乗合タクシーを導入し対応（運行形態は、多目的で利用可能な定時デマンド方式）する。
 - 運行にあたっては、出浦・日出山の通院及び出浦の通学まで対応できる運行形態とする。
 - 現在、当該地区からの「ひまわりバス」で対応（冬期以外）する大谷内は、中子地区からの乗合タクシー対応（通年）に変更する。
- 方向性③：スクールタクシー運行の見直し（路線バス・乗合タクシーによる代替運行）**
- 上記①及び②の変更に伴い、現在運行のスクールタクシーは取りやめの方で見直す。
- 方向性④：ひまわりバスの運行見直し（乗合タクシーによる代替運行）**
- 上記①及び②の変更に伴い、現在運行の「ひまわりバス」は取りやめの方で見直す。

